

第67回 野村年金マネジメント研究会セミナー
世界に迫る地殻変動と年金運用の視点

プログラム

(13:30 配信開始・ご案内)

13:35 - 13:50 開会の辞 ~ NFRCがアセットオーナーの皆さまにご協力できること

荻島 誠治 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC) 代表取締役社長

[第1部]

13:50 - 14:35 講演

2022年度の投資環境の展望、ポストコロナから新冷戦へ？

米欧のインフレについて中央銀行の見方やコンセンサスがどのように変化してきたかを振り返りながら、昨今の地政学的リスク上昇やコモディティ価格上昇がコロナ禍以降の過剰貯蓄によって吸収可能であるか、金融引き締めにより混乱が生じないかなどの論点について点検します。また、数多くある指標・イベントの中で、何が金融市場に影響を与えているのか、そしてウクライナ紛争により混乱した市場環境での投資機会を整理します。TAA(戦術的アセットアロケーション)の手法を用いた直近の投資判断も紹介します。

北岡 智哉 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
CIOマネジメント部 チーフ・ストラテジスト



2000年東京大学教養学部卒業後に野村証券入社、金融経済研究所投資調査部にてストラテジストを経験した後、内外の証券会社でストラテジスト、エコノミスト、経済産業省などを経て2021年より野村証券フィデューシャリー・マネジメント部チーフ・ストラテジスト。2021年12月より現職。

機関投資家によるランキング評価ではストラテジスト、エコノミスト、市場分析アナリストの各分野で同時期に上位に入り、ストラテジストのようなエコノミスト、エコノミストのようなストラテジストと呼ばれる。データ分析を重視するがその限界にも注意を払い、データ以外の情報にもアクセスし、定量・定性判断を融合した投資判断を行う。

14:35 - 15:05 講演

超長期債を用いた運用効率の改善方法

足元での米国利上げ等による債券キャリーの低下懸念に対して、相対的に利回りが高く、株式等との逆相関性も期待できる「為替ヘッジ付き超長期先進国債」(以下、超長期債)への投資を選択肢の一つとして紹介します。一方、中長期的には低金利環境の継続が懸念事項であり、既に年金運用業界では伝統的な債券から債券代替となるオルタナティブへの資金シフトが進んでいます。そうした流れの中で、超長期債を活用したオルタナティブ比率の拡大方法、ひいてはポートフォリオ全体の運用効率の改善方法について提案します。

権代 紘志 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 コンサルタント



2012年東京理科大学在籍時(博士後期課程)に野村証券入社。金融市場調査部等にて2016年まで生保等の金融機関・企業年金向けのリサーチ及びアドバイザー業務に従事。2017年に野村証券インデックス業務室に移り、野村証券が提供する債券指数(NOMURA-BPI)・株式指数(Russell/Nomura)などの監理運営業務に従事。2019年に野村証券フィデューシャリー・マネジメント部に移り、企業年金・大学向けの運用コンサルティング業務及び年金運用に係るリサーチ業務に従事。2021年12月より現職。

プログラム

[第2部]

15 : 15 - 16 : 15 パネルディスカッション

不透明感が増す環境下でのポートフォリオ考察

米国の金融引き締めや昨今の地政学的リスクが金融市場のボラティリティを高め、足下の投資環境は不安定さを増しています。本パネルでは、2021年度の運用を振り返ると共に、2022年度の年金運用における注目点や課題について、今後の中長期的な観点を踏まえて考えます。年金基金、運用会社、コンサルタント、それぞれ異なる立場のパネリストによる見解を基に議論します。

パネリスト:

芳我 光一朗 みずほ企業年金基金 常務理事



1985年東京大学法学部卒業、富士銀行(現みずほフィナンシャルグループ)入行。富士銀投資顧問(現アセットマネジメントOne)、公的年金派遣、富士銀行厚生年金基金(現みずほ企業年金基金)、みずほ総合研究所(現みずほリサーチ&テクノロジーズ)等を経て、2016年より現職。

主な著作は「年金基金の資産運用」(共著、2004年東洋経済新報社)等。

日本証券アナリスト協会認定アナリスト

中村 洋輝 野村アセットマネジメント株式会社 運用部(マルチアセット&ソリューションズグループ)
兼機関投資家営業部※ シニア・ポートフォリオマネージャー



(※2022年4月より機関投資家ソリューション部に改称)

東京工業大学大学院社会理工学研究科修了後、2003年みずほホールディングス入社。みずほ信託銀行、総務省、資産管理サービス信託銀行にて、資産運用・資産管理業務、マクロ経済分析業務に従事。2007年大和ファンド・コンサルティング入社後は、年金資産運用の分析・評価、基本ポートフォリオの策定及びマネージャーストラクチャーの見直し等を幅広く実践。2021年12月より現職。

日本証券アナリスト協会認定アナリスト

吉田 葵 野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社 (NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 コンサルタント



2019年慶應義塾大学大学院理工学研究科修了後、野村証券入社。フィデューシャリー・マネジメント部にて企業年金、学校法人向け運用コンサルティングおよび資産運用に関するリサーチを行う。主なリサーチレポートに「米国大学における寄付金運用」(Fiduciary Research、2020年)等がある。

2021年12月より現職。

日本証券アナリスト協会認定アナリスト

モデレーター:

田口 凡生 野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社 (NFRC)
フィデューシャリー・マネジメント部 シニア・エグゼクティブ・アドバイザー



1979年4月日本交通公社(現JTB)入社。1982年本社経理部会計、資金運用、為替業務担当。1989年JTBオーストリアウィーン支店マネージャー。1997年本社財務部資金管理チームマネージャー。2000年JTB北米統括本社JTB AmericasLtd.財務役。2007年本社財務部資金管理部長。2010年ジェイティービー企業年金基金常務理事・運用執行理事。2018年4月野村証券フィデューシャリー・サービス研究センター シニア・エグゼクティブ・アドバイザー。2021年12月より現職。